

決意も新たに一歩「前へ！」



空知に元気！道民に希望を！

稲村ひさお 道政だより



発行
稲村ひさお事務所

〒073-0161
砂川市西1条
北2丁目1番1号
TEL&FAX
0125-52-2626

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、一昨年の総選挙でようやく実現した政権交代。今、国民は民主党政権に対して国会の状況に右往左往せず、じつくりと腰を据えて政策を実現することを望んでいるのではないのでしょうか。

私は、皆様到现在の立場をお与えいただき、早くも4年が経過しようとしています。

この間、特に『地域医療の確保』や『自治体財政の問題』を中心に、道議会の中で、皆様の声、私の政策を訴えてきましたが、今後もしピード感と責任感のある施策を求めていきます。

私の残された任期もあとわずかです。私には全力疾走しかありません！ふるさと空知の元気を念じ、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

北海道議会議員

稲村久男



切実な声を道政へ



日頃のご支援に感謝



子どもたちの未来のために



激励に感謝です



多くの職場の実態を聞きました



深川後援会でお礼の挨拶

ひさおの 活動アルバム

平成22年第4回定例会 一般質問

北海道議会議員に初当選させて
いただいていた。今回で5回目の一
般質問となりました。この間の皆さ
んとの対話を基本に、私のライフワ
ークである『自治体財政の再建』や
『地域医療の確保』について、知事の
考えを質しました。

夕張市の財政再生に 関する課題について

今回の一般質問では、夕張市の行
政執行体制の整備を図るため、「道
職員の派遣」、「夕張市の職員採用」、
「財政再生計画の見直し」、最後に「旧
産炭地域の振興対策」についての問
題点・課題を追求しました。自治体
の財政再建のためには、自治体の努
力だけでは限界があることから、国
や道の財政支援も含めた具体的な
取り組みの実施を訴えましたが、知
事からは、今回も具体的な答弁が少
なく、今後とも夕張市や関係機関等
と連携して取り組むべき政治課題
であると考えています。

地域医療対策について

北海道の地域医療は疲弊し崩壊
寸前の状態にある中、地域で暮らす
人々は、地域から医療がなくなるの
ではと大変危惧して暮らしている
と言えます。

今回の一般質問でも、道が策定し
た「自治体病院等広域化・連携構想」
の推進状況と今後の進め方を質問
しました。道が、地域医療の確保を
真剣に考えているのであれば、広域
化・連携の取り組みを地域に丸投げ
するのではなく、道が自ら地域に出
向き、親身になって、地域の意見を
聞き調整役を担うなど、積極的な対
応をすることが、この構想を進める
ことになると思うからです。

私の一般質問が北海道新聞(平成22年12月1日)に掲載されました。はっきり発言、しっかり行動します。



自治体病院等広域化・連携構想とは…
道が昨年1月に策定した構想で、全
道を30区域に分け、自治体病院が区域
内の医療機関と連携し医療を提供する
体制を築こうとするもの。空知管内は
4区域に分けられている。



知事は、この私の質問に対して、「道と市町村などが一体となって協議するとともに、よりスピード感を持って進展するよう努める」と述べ、道の「広域化・連携構想」の具体化を促すため、各地で難航している自治体間協議の調整に道が乗り出す考えを明らかにしています。

夕張市の問題、そしてこの地域医療の確保の問題の本質は、そこで暮らす住民がいかに安心して安全に、活き活きと暮らしていけるかであると思います。そのためには、地域における課題を道が積極的に支援していくことこそ道の役割であると考えますし、過疎地域を守るからこそ、北海道の活性化につながると思っています。

ホームページ 好評開設中!

<http://www.i76rider.ecweb.jp/> ←登録してね

稲村ひさおの
想いや活動が
つまっています。

- プロフィール
- 写真
- ブログ
- フォトギャラリー
- お問い合わせ

北海道議会議員



稲村ひさお

ブログも
随時更新!

後援会事務所のご案内
稲村ひさおと明日の道政を拓く会
〒073-0161 砂川市西1条北2丁目1番1号
TEL/FAX: 0125-52-2626